



木質バイオマス発電・熱利用の事業化を着実にサポート！

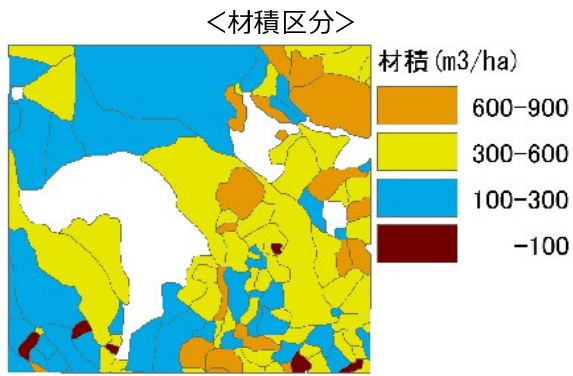
＜事業の継続に安定供給が最重要＞

森林に蓄積された木質バイオマスを発電や熱利用に活用し、循環型の地域づくりを行っていくことが社会的な課題となっています。固定価格買取制度(FIT)が始まり、再生エネルギー発電に対する国の支援体制も整備されました。しかし実際の事業化にあたっては、利用可能な資源量を正確に把握しその安定的な供給に見合う事業規模を見極めることが重要です。弊社の保有するリモートセンシング技術、解析技術を応用することで、持続的なバイオマス活用事業推進を強力かつ着実にサポートします。

資源量調査

GISデータ等を駆使し現況の資源量と分布を正確にとらえます

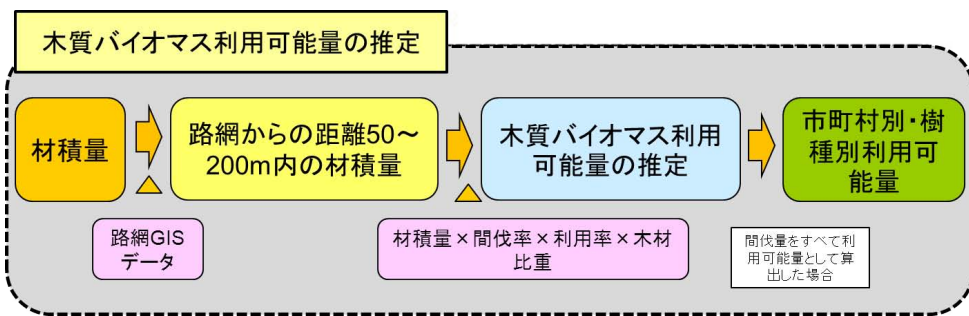
木質バイオマスの継続的なエネルギー利用には、まず森林資源の量と分布の現況をより正確にとらえることが必須です。森林整備計画・森林簿等のデータとともに航空レーザ計測による資源解析(森林GIS、林相図、赤色立体地図)等から、樹種や材積を広域的に同じ精度で把握することができます。既存路網のデータ、法規制、現地調査の結果等を重ね合せ、バイオマス資源の現実に即した利用可能量を算定します。これらに基づき、安定的な資源供給に必要な集積範囲とそれに見合った事業規模等を設定することが可能となります。



基本設計

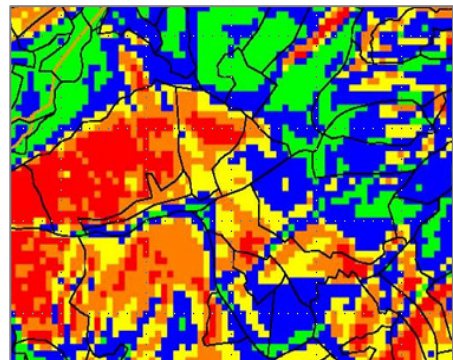
事業化に向け施設の適正配置等のソリューションを提供します

想定される諸課題に対し複数の選択肢をもった解決策をご提案し、事業実現に向けて柔軟かつ着実なサポートを行います。



▼路網整備計画・間伐計画支援のための基礎検討▼広域連携事業の検討▼製材所・加工場・発電所等の適正配置検討▼コジェネの可能性検討▼事故・メンテナンス時のバックアップ計画▼J-クレジット制度等の利用可能性検討▼資金調達方法の検討▼法規制等に係る許認可協議▼環境影響評価に係る手続▼系統連系協議などの諸課題に対して最適なソリューションをご提供します。

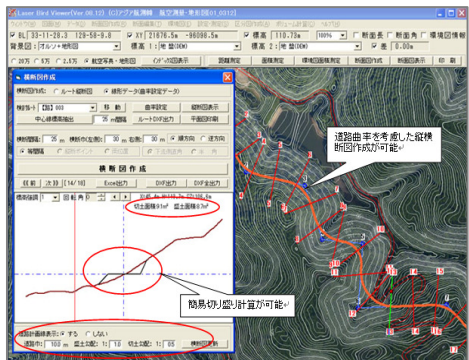
当社は、環境・森林・GIS等に関する解析技術と実績豊富な技術者を擁し、必要に応じて協議会や検討会・説明会等を運営支援し、諸手続きの効率化や合意形成の醸成に努めます。また各分野の専門企業とのアライアンスにより多面的なサポートを実施します。



傾斜区分図



赤色立体地図



路網計画GIS支援システム

バイオマス

事業化に向けた流れ

アジア航測が事業化に向けてサポートできること

未利用間伐材等を利用した木質バイオマス発電・熱利用を導入するためには、おおむね下記の手順が必要になります。



主な実績

- ・ H 2 2 /山形県鶴岡市「緑の分権改革推進事業 森林バイオマス事業可能性調査」
- ・ H 2 0 / (財) 東京都農林水産振興財団「木質バイオマス事業生産システム等調査設計委託」

お問い合わせ先